



NPO法人いちはら市民活動協議会

2023年度事業概要



グランパ・フェスタ in いちはら

「グランパ・フェスタ in いちはら」は、主に65歳前後の男性(グランパ)を対象に、ボランティア活動を通じて生き生きと過ごしていただくきっかけを提供するイベントです。

市内各地で活動している市民活動団体による活動紹介ブースの他、活動紹介のプレゼンテーションや、茶話会も行いました。

前年度との主な変更点

- ・活動紹介プレゼンテーションを充実させ、7団体+1テーマ(コミュニティ・スクール)の計8回実施しました
- ・味の素AGF(株)とウエルシア薬局(株)のご協力により、茶話会のコーヒー等の飲料をご提供頂きました

開催概要

- 日時:2024年3月2日(土)14時~17時
- 会場:ウエルコミ
- 参加人数:約65名 □ 参加団体:21団体
- 後援:市原市 市原市社会福祉協議会 市原商工会議所
市原市ボランティア連絡協議会



ウエルシア・コミュニケーションセンター いちはらの管理・運営

市原市より「企業と連携した市民活動促進事業」を受託し、ウエルシア・コミュニケーションセンターいちはら(ウエルコミ)の管理・運営を2021年10月の開館当初から行なっています。

貸館だけではなく、コーディネーターを中心に様々な団体や企業・行政が協働した活動の立案・実施などにも取り組んでいます。

前年度との主な違い

- ・開館日を1日増やし、**日曜日も利用可能**に(4月～)
- ・子ども第三の居場所事業「**ウエルキャン**」開始に伴い、子どもの利用が増加(6月～)
- ・利用者の利便性向上の観点から、**部屋の予約システムをリニューアル**(7月～)
- ・台風13号による大雨被災地のボランティア駐車場として活用(9月末)



利用者数

毎月平均 約 **1800人**

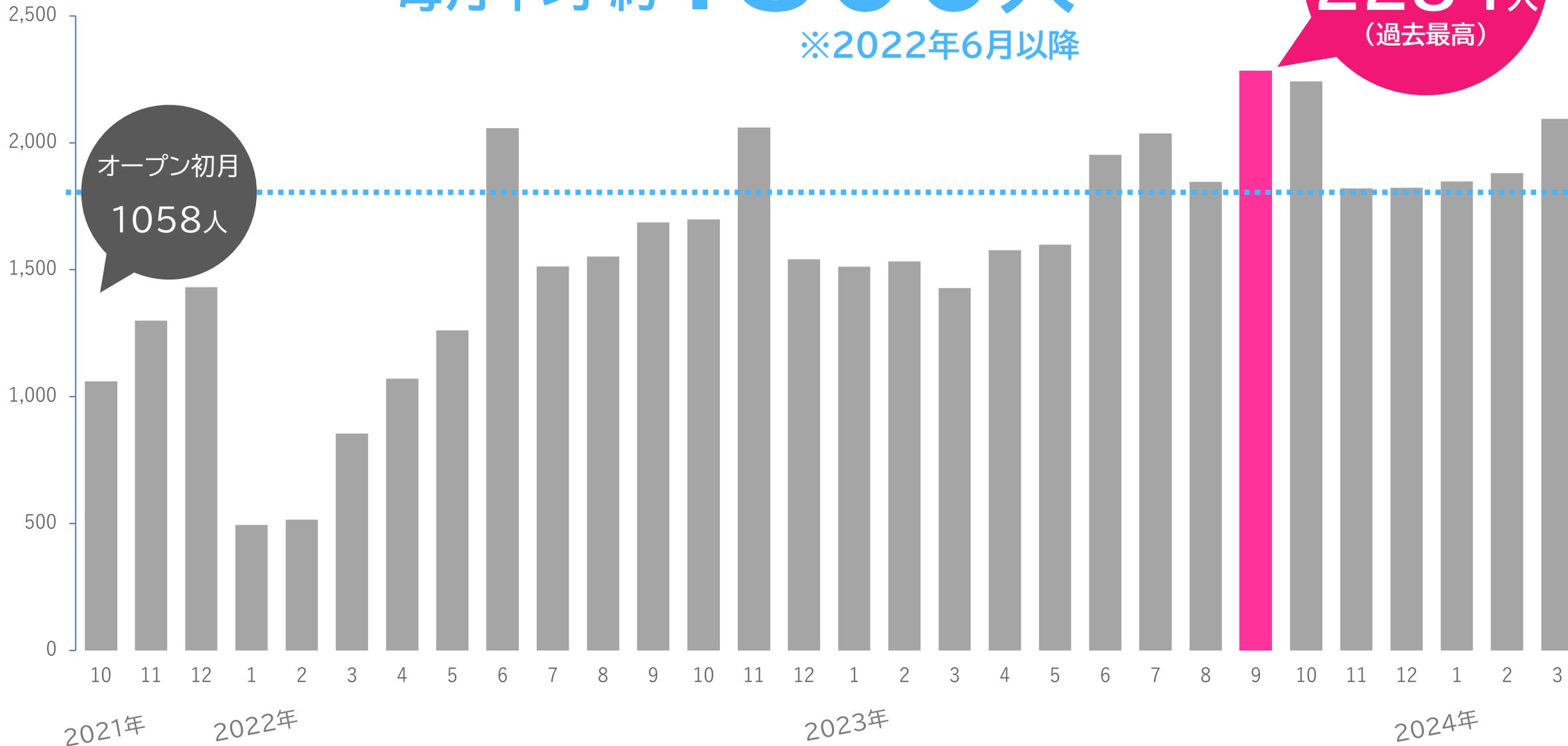
※2022年6月以降

2023年9月

2284人

(過去最高)

オープン初月
1058人

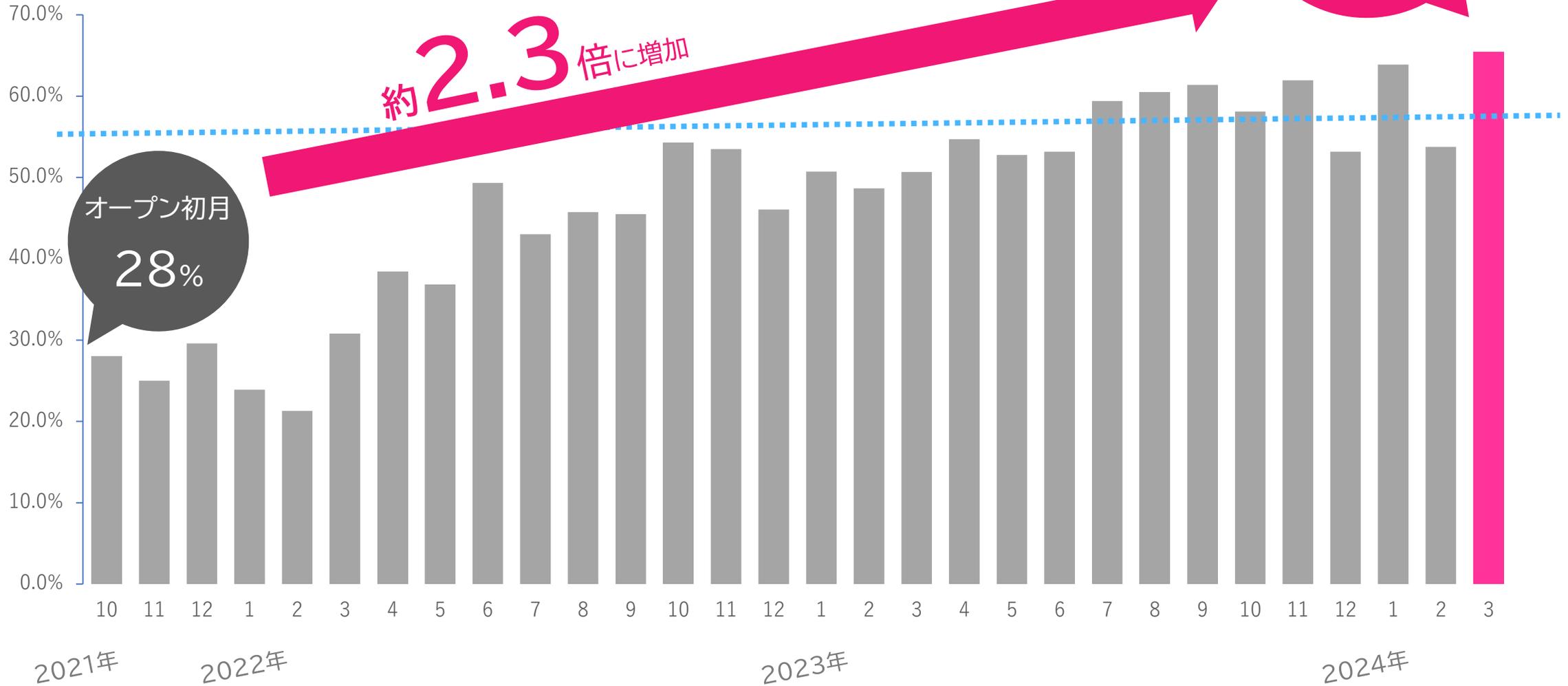


稼働率

毎月平均 約 **55%**
※2022年10月以降

2024年3月
65.4%
(過去最高)

約 **2.3** 倍に増加



活動数

140

120

100

80

60

40

20

0

2023年3月

120回/月
(過去最高)

毎月平均 約

100回

※2023年3月以降

約7倍に増加

オープン初月

16回/月

2021年

2022年

2023年

2024年

10

11

12

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

登録団体数

毎月平均 約 **5団体** ずつ増加

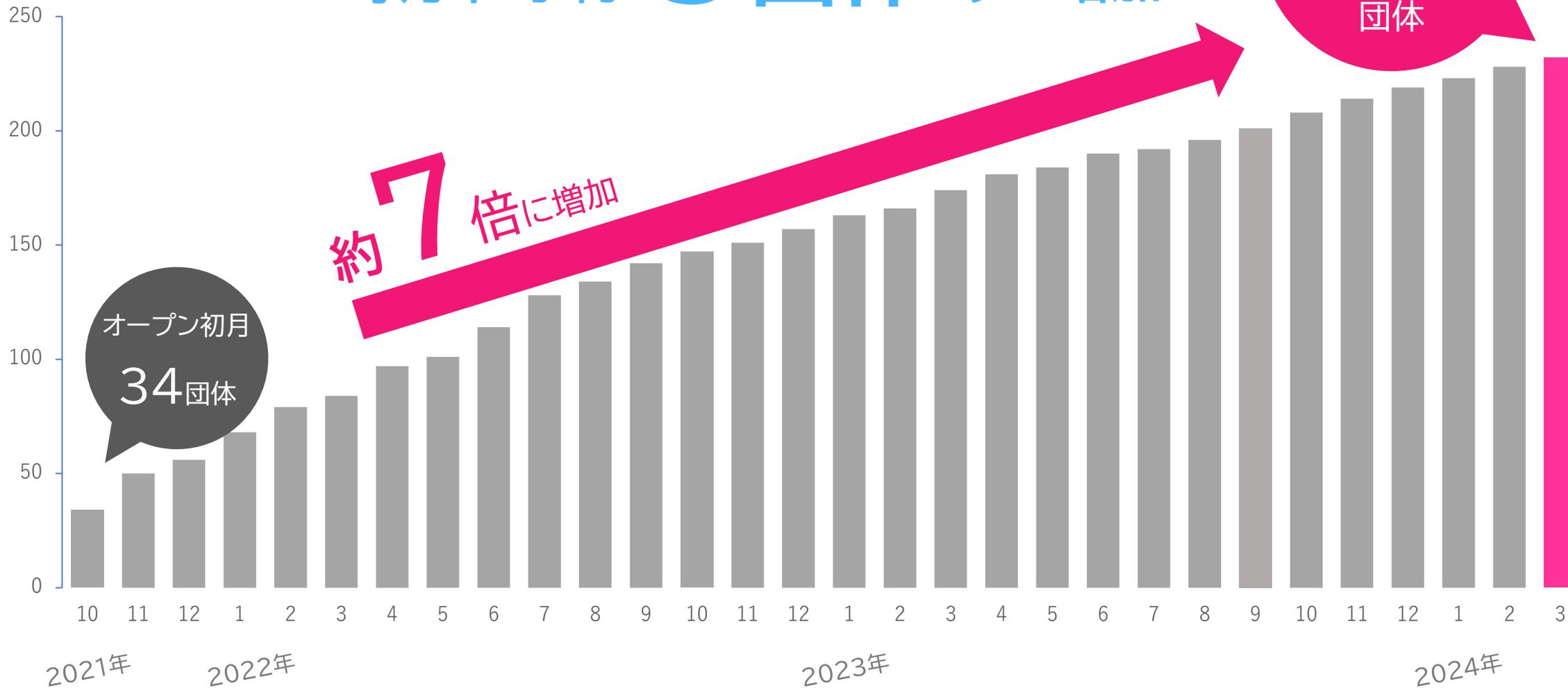
2024年3月

232
団体

約 **7** 倍に増加

オープン初月

34団体



日曜の学校(第3期)

日曜の学校は、小中学生を対象に、様々な体験活動を通じて「市原ならではの」の学びを深める連続講座です。3回目を迎える23年度は、**「市原の歴史」**をテーマに3日間の日程で実施しました。

○1日目:ユニフォームづくり

白いTシャツを持参頂き、専用の絵の具等でTシャツを思い思いに装飾しました。

○2日目:市原歴史博物館見学

貝輪づくりの体験と、学芸員の案内による博物館内の見学等を行いました。

○3日目:房総太巻き寿司づくりの体験

いちほら食育の会等にご協力頂き、市原の郷土料理である房総太巻き寿司の歴史や作り方を学びました。

開催概要

- 日時:2024年2月4日(日)、2月25日(日)、3月17日(日)
- 会場:ウエルコミ、市原歴史博物館
- 参加人数:9名
- 主催:ウエルコミ運営委員会(市原市・ウエルシア薬局・いちほら市民活動協議会)

ユニフォームづくり 1日目



市原歴史博物館見学 2日目



房総太巻き寿司体験 3日目



子ども第三の居場所「ウエルキャン」

市原市内初、県内では4か所目！日本財団「子ども第三の居場所」に採択され、ウエルコミにおける子どもの居場所事業「ウエルキャン」をスタートさせました。市民活動団体が“講師”となり、子どもも大人も自由に過ごせる居場所をつくっています。

○コンセプト:「well-beingなみんなのキャンパス」

○開設日: 毎週水～金曜日 11時～17時(ラウンジを開放し実施)

○スタッフ:5名(高校生や大学生のボランティアも受け入れ)

○主な対象者:時間帯別に2つの対象者を設定

日中:主に学校に行けない・行かない選択をした子ども(不登校など)

夕方:学校帰りの子ども

○利用人数(2024年3月時点)

日中(不登校等):15名(登録人数)

放課後:5～15名程度/日

○助成:公益財団法人日本財団

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



「ウエルキャン」実施状況

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

■普段の過ごし方

おしゃべり ボードゲームで遊ぶ 読書 ゲーム など

■定例のイベントなど

わくわくタイム(理科の実験教室、ものづくりなど) <第2金曜夕方>

英語体験会 <第3金曜夕方:>

母ヨガ <第1・第3金曜10時~>

学習タイム(学習支援) <第2・第4木曜14時~>

学習相談会(学習支援) <木曜11時~、月2回不定期>

お弁当の配布(生活支援) <金曜12時~、月2回不定期>

■子どもの「やってみたい」を形にする体験を子どもと一緒に企画・実施

・室内野球大会

→ウエルコミで出た古いチラシなどを丸めてグローブなどを制作

子どもたちと話し合いながら考え、実践しました

・かき氷づくり グラデーションドリンクづくり

・マルシェ出店

・ゲーム大会

→子どもたちがウエルコミに団体登録し部屋を利用

・三色パステルアート体験

・高校生や大学生、地域住民によるボランティアの参画



「ウエルキャン」実施状況

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

主なイベントの様子



ヨガ



学習相談会



わくわくタイム



ハピシェアランチ
(給食スタイルのランチ会)



パステルアート体験



英語体験イベント



アロマ体験



クリスマスの飾りつけ

「ウエルキャン」実施状況

2023年度の主な取り組み



マイクラフトワークショップ



ライフスキル教育サポートプログラムの受講(スタッフ研修)



東京医療保健大学の「ボランティア論」実習の受け入れ



クリスマスパーティー

市原での「子どもの居場所」拡大へ向けて

「子どもの居場所情報コーナー」の設置

市内の情報を集約し保護者へ届けたい

市原市内の様々な「子どもの居場所」情報をまとめた情報コーナーをウエルコミ内に設置。



「子どもの学び・居場所ネットワークいちはら」の設立

市原で活動する団体同士が連携し、子どもや保護者をサポート

市原市内で子どもの居場所づくりに取り組む市民活動団体やフリースクール等と協働し、情報交換や行政への働きかけ等における連携などを目的として「子どもの学び・居場所ネットワークいちはら」を2023年春に設立。

関係する団体の情報は、市内での活動をまとめた「いちはら子どもの居場所ガイド」にも掲載した。



子どもの居場所フェスタ in いちはら

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

市原市内で「子どもの居場所づくり」に取り組む市民活動団体(15団体)が一堂に集結し、それぞれの団体の活動紹介や参加者同士の意見交換・交流を図るイベントを実施しました。4団体による活動紹介や、参加者同士の座談会「おちゃコミ」等を実施したほか、会場内にはいくつかのブースを設け、参加者は自由に各ブースを回りながら楽しんでいただきました。

<開催概要>

日時:2024年3月31日(日)13時~17時 会場:ウエルシア・コミュニケーションセンターいちほら

来場者数:約80名(オンライン視聴者数:約10名) 主催:NPO法人いちほら市民活動協議会 後援:市原市、市原市教育委員会

<参加団体(順不同・敬称略)>

We are Buddies、おやこ食堂もぐもぐ、ごい商店、ひだまり×ごい商店、NPO法人ゆう ふわふわ、放課後calm、カスミソウ~自由登校を見守る会~、つぼみ~咲かせよう自分だけの花~、ASOBIBAあらいぐま、みんなの居場所Laulele、みんなの寺カフェ西光寺、つなぐTsunagu、教育支援教室 フレンド市原(市原市教育センター)、まなび舎こすもす、ウエルキャン



居場所写真展「みっけいちほら」



相談ブース
(カスミソウ運営)



おちゃコミ(座談会)



書籍コーナー

市民(私たち)の力で子どもの命を守るシンポジウム コミュニティ・スクールの促進で 学校をより良くしよう!!

市原市でも令和 8 年度までに市内全ての公立小中学校での導入が予定されている「コミュニティ・スクール」を、市原でどのように促進し、学校や地域の諸問題をどう解決できるかを市民同士で考えるシンポジウムを行ないました。

<第 1 部>講演

コミュニティ・スクールの制度説明や、市内での取り組み状況など

講師:御園生 文雄 氏、榎本 悦 氏

<第 2 部>ワークショップ

参加者一人一人がコミュニティ・スクールにどう関わる事が出来るかなどについて、グループに分かれて話し合いました

開催概要

- 日時:2023年11月18日(土)13:30~16:40
- 会場:ウエルコミ
- 参加人数:約30名
- 後援:市原市教育委員会

第3回「市民の力で子どもたちの命を守る」シンポジウム

コミュニティ・スクールの促進で
学校をより良くしよう!!

地域との連携により先生方の多忙を解消し、子どもに向き合う時間を増やそう!!

11/18 (土)

13:30~16:40 (受付開始:13:00)

会場:ウエルコミ
(ウエルシア・コミュニケーションセンター1号棟)

定員:60名 参加費:無料

市原でも始まった「コミュニティ・スクール」を促進することで地域への連携により先生方の多忙を解消し、子どもに向き合う時間を増やそう!!

全県で導入が進む「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)。市原でも令和8年度までに市内全ての公立小中学校での導入が予定されています。もしも「コミュニティ・スクール」を市原で促進することで、学校や地域の諸問題をどう解決できるかを市民同士で考えるシンポジウムです!!

内容
コミュニティ・スクールの制度説明や、市内での取り組み状況など
講師:御園生 文雄 氏、榎本 悦 氏

第2部 ワークショップ
参加者一人一人がコミュニティ・スクールにどう関わる事が出来るかなどについて、グループに分かれて話し合いました

主催:特定非営利活動法人いちはら市民活動協議会 後援:市原市教育委員会

